

令和4年第5回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

令和4年9月9日（金） 午前10時開議

◎ 一 般 質 問

- (1) 5番 菅原明雅君
- (2) 8番 鹿兒島 巖君
- (3) 6番 秋元英俊君
- (4) 3番 本田佳子君

令和4年9月8日招集

第5回小坂町議会（定例会）

---

---

# 発言通告書

---

---

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	5	菅原明雅	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 「日本で最も美しい村連合」について</p> <p>2. 「避難指示」について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>『日本で最も美しい村』連合 定期総会・学習会2022 in秋田県小坂町」が成功裡に終わられました。おめでとうございます。町政報告・広報こさか等での内容と重なる点もありますが、町民に広く周知願いたく質問します。</p> <p>1. 「日本で最も美しい村連合」に参加しての、町としてのメリットをお示し願いたい。</p> <p>2. 吉本秀樹会長（京都府伊根町長）の挨拶に、「無いものを数えるのではなく、あるものを生かすことを考え、これからの観光事業にあたりたい」とのお言葉があり、共感致しました。「小坂町にある生かせる観光資源」とは何か、お考えを伺いたい。</p> <p>3. 観光産業課の発表の中で、「小坂町が美しい村であり続けるための課題」として、①情報発信力（内外問わず）②町に誇りを持つこと ③次世代へ継承してゆくことの3点を挙げておられましたが、この課題に具体的にどのように取り組み解決してゆこうとお考えか、お伺いしたい。</p> <p>8月3日午前10時10分、大雨で土砂災害の危険が高まっているとして、町内全域に避難指示が出されました。5段階の警戒レベルのうちレベル4にあたる情報で、危険な場所から全員避難するよう呼びかけられました。</p> <p>1. 今回の避難指示で、実際に町で準備された避難所にどれだけの方が避難されたか、お伺いしたい。</p> <p>2. 政府広報によれば、『警戒レベル3』は危険な場所から高齢者等は避難！、『警戒レベル4』は危険な場所から全員避難！ということになっていますが、小坂町で「危険な場所」とは具体的にはどういう地域場所になるのか、お教え願いたい。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
2	8	鹿兒島 巖	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 会計年度任用職員の処遇改善について</p> <p>2. 高校再編にかかわって、高校生への就学支援について</p> <p>3. 国の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」事業にかかわって</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>令和2年度から会計年度任用職員制度が導入され、制度発足にかかわって処遇改善を求めて来たところであり、これまでの答弁では3年目を目途に給与・期末手当・福利厚生面で充実させたいとのことであったが、着手状況はどうか。</p> <p>高校再編がいよいよ2年後に迫っている。再編後は小坂に高校がなくなり、高校に進学する生徒は全て町外への通学となることから、新たな就学支援が必要であることはこれまでも提起してきたところである。</p> <p>小坂高校の廃校まであと1年半と迫っていることから、具体的な支援策をしめす時期と考えるがどうか。</p> <p>国は2050年カーボンニュートラルの実現とともに、2030年度の温室効果ガス排出を2013年度比で46%削減目標の実現に向けての施策として、再生可能エネルギーの主力電源化を掲げ、その具体的事業の一つとして脱炭素事業に意欲的に取り組む地方自治体等を複数年度にわたり支援する交付金を設け、脱炭素に向かう地域特性等に応じた先進的な取り組みを開始したが、この事業についてどのように受け止めているか。</p> <p>特に、小水力発電、太陽光発電などの脱炭素・再生エネルギー推進事業が展開可能な地域特性があると思うがどうか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
3	6	秋元英俊	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 令和4年8月の大雨による災害について</p> <p>2. 地方公務員の定年について (条例の改正について)</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 小坂町において斜面崩落や土砂流出などの復旧対策は。(土砂災害と言えるであろう断水についての、今後の対策は。)</p> <p>2. 土砂災害警報などの周知は、災害メールのほかにとつた手段は。(消防との連携は取ったのか。)</p> <p>3. 水稲や野菜等農業関係の被害に対しての救済対策は。</p> <p>4. 大雨警報や土砂災害警報による災害レベル3高齢者避難等の指示が出されましたが、8月3日からの避難者数は何家族、何名あったのか。(各避難所での職員の体制はどのようなものだったのか。)</p> <p>5. 避難所におけるコロナ対策はどのような形式を取ったのか。</p> <p>6. ドローンの活用について (災害時等)</p> <p>1. 地方公務員法の一部を改正する法律により、公務員の定年が、令和5年度から令和13年度にかけて段階的に65歳まで引き上げられることから、小坂町においてもその条例の改正を今年度中に上程すると考えますがどのように進んでいるのか。(地域の企業にも影響が考えられることから、早期に上程するべきと考えるが。)</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
4	3	本田佳子	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 再生可能エネルギーについて</p> <p>2. 防災・減災について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 現在、町で稼働している、再生可能エネルギーはあるか。稼働していた場合、エネルギー量はどの程度か。</p> <p>2. 町として、今あるほかに、新たな再生可能エネルギーに取り組む考えはあるのか。</p> <p>3. エネルギー確保のために、進めている事業はあるか。</p> <p>1. 8月始めから、お盆過ぎまで続いた長雨で、今までにない被害が出た。高齢者等避難指示が頻繁に出ていたが、周知されていたのか。</p> <p>2. 豪雨災害で、倒木による停電が相次いだ。現在、明らかに電線と接触していると思われる樹木は確認されているか。</p> <p>3. 自主防災組織計画で、各自治会による、防災に対する備えを準備することとなっているが、各自治会に温度差があり、積極的にやっているところと、余り進んでいないところがある。町として、働きかけはしているか。また、この度の災害では、連携はとれたのか。</p>		